

**放課後等デイサービスおよび児童発達支援
事業所における自己評価結果(公表)**

討議年月日:令和 6 年 9 月 10 日

公表:令和 6 年 10 月 1 日

事業所名 にじのかけら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	人数が多いときは1Fと2Fで分散。
	2	職員の配置数は適切である	11	0	十分に配置されている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	5	2階建てのため階段はあるが、手すりや滑り止めを設置し安全対策をしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	2	毎月会議を行い、その月の目標・議題・月の振り返りを行い記録し周知している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	1	年に一度保護者にアンケート調査を行い、社内で話し合い意向の把握や業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	1	ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	3	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	1	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	3	学習支援において課題を決めて行っている。休日や長期休暇には平日では時間の都合上進められない学習の苦手克服や、時間のかかる工作や遊び、外出レクなどを取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	言葉が遅い子や文章が苦手な子へは読み聞かせや音読、数字が苦手な子には数字を楽しく使ったゲームなど個別活動と集団活動を組み合わせている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	3	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	5	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0	終了後に時間を取る事が難しい為、支援日誌を通して情報共有している。季節に合った工作を作る際には短時間で仕上げる事ができるよう先もって準備している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	0		

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	主に児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	5	該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	4	該当者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	3	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	2	長期休暇中のイベントに兄弟姉妹の参加あり。 地域の公民館での児童向けイベントに参加実績あり
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	11	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	連絡帳や送迎時において日々の状況を伝えている。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	4	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	契約約時に丁寧に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	悩み相談や面談依頼には適宜対応しており、必要な助言と支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	6	コロナ感染対策は緩和されたが、「にじの会」開催にあたっては慎重に検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	定期的にお便りを配布している。
	35	個人情報に十分注意している	11	0	個人情報に係る書類は鍵付き書庫にて管理している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	7	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	1	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	11	0	ホームページにて指針を記載し周知している。契約時に説明し、必要に応じてサービス提供表に記載している。(現在は該当者なし)
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	3	医師の指示所が必要な利用者は該当はないが、アレルギー情報については事業所内にて共有
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	3年前より実施し、職員間で共有している

新しい職員には事業所の取り組みが見えづらい状況であることが分かった。
研修や職員会議を通してより事業所の取り組みを職員へ対して周知していくよう取り組んでいく。

※児童発達の利用者が少数であること、職員を児童発達の職員・放課後等デイサービスの職員、と区分けしていない為、「放課後等デイサービスおよび児童発達支援事業所における自己評価」として掲載。